

ひがしにほんだいしんさいもっこしやつきめいにちくようえこう

東日本大震災物故者月命日供養回向

ぶつしん ほっかい じゅうまん あまね いっさいぐんじょう まえ げん えん

仏身は法会に充滿し、普く一切群生の前に現ず、縁に

したが かん おもむ あまね な しか つね こ
随い感に赴いて周からずということ靡し、而も常に此

ぼだいざ しょ

の菩提座に処したまう。

あお こいねがわく さんぼう ふ しょうかん た

仰ぎ 冀 くは三宝、俯して照鑑を垂れたまえ。

じょうらい きょうしめ ふじゆ あつ ところ くだく

上来、経呪を諷誦す、集むる所の功德は

ひがしにほんだいしんさいもっこしやしよしょうれいしようつきくよう ため えこう ほうち

東日本大震災物故者諸精霊祥月供養の為に回向し報地

しょうごん

を莊嚴す。

こいねが ところ とも ぶつもん こうみょうたい のぼ すみ だいひ

冀う所は、俱に仏門の光明台に登り、速やかに大悲の

ぼだいどう まじ

菩提道を円かにせんことを。